



事故収束に

シニアの力を!

2011.03.11

東日本大震災発生

2011.03.12

東京電力福島第一原発水素爆発

2011.04.06

「福島原発暴発阻止プロジェクト」よびかけ

2011.05.24

「福島原発暴発阻止プロジェクト」第一回院内集会

2011.05.26

細野首相補佐官並びに東京電力と会談
福島第一原発視察を要請

2011.06.03

ニコニコ生放送
緊急特番
山田代表外4名出演
これが福島原発の現場だ!」に

福島原発行動隊

Skilled Veterans Corps for Fukushima

若者に被曝させないためにシニア



2011.07
一般社団法人
福島原発行動隊 設立

2011.07
福島第一原発現地視察

2011.08
細野大臣及び東京電力へ提言書提出

2011.08
山田理事長記者会見
(主催自由報道協会)

2011.09
JAEA主催の
放射線測定要員育成研修に
受講者派遣



2012.01
『福島原発行動隊』
発刊



「福島原発行動隊」は、福島第一原発事故の収束作業に当たる若い世代の放射線被曝を軽減するため、退役技術者・技能者を中心とする高齢者が、長年培った経験と能力を活用し、現場におもむいて行動することを目的として、2011年4月に発足しました。同年7月には法人化し、2012年4月に内閣府から公益社団法人としての認定を得て、公益目的事業並びに活動を積極的に推進しています。同年6月末で、行動隊員数は約700名を擁し、賛助会員も1600名を超えるまでになりました。

2011年7月には、行動隊員5名が東京電力福島第一原発を視察し、第4号機原子炉建屋に入り水素爆発による凄まじい破壊状況を目の当たりにしました。原発事故収束事業については、場当たりの仮設、応急措置で行うのではなく、国家的なプロジェクトのもとプロジェクトマネジメント概念に基づき徹底した廃炉措置工程監理の重要性を改めて認識を深めてきたところです。国際的な英知を結集した上で、原子炉廃止措置をしなければならないと考えます。

併せて、福島第一原発周辺の被災自治体における復興事業、帰還事業などの一助となるべく、行政とも手を携えて公益事業、活動を進めてまいります。

私どもは、福島第一原発の事故収束に向けた様々な事業、活動を展開していくために、国民各層からのご賛同、ご支援をお願いするとともに、社会の期待・要請にお応えいたしてまいります。

「原発事故収束にシニアの力を!」との旗幟を鮮明にし、今後とも邁進してまいります。

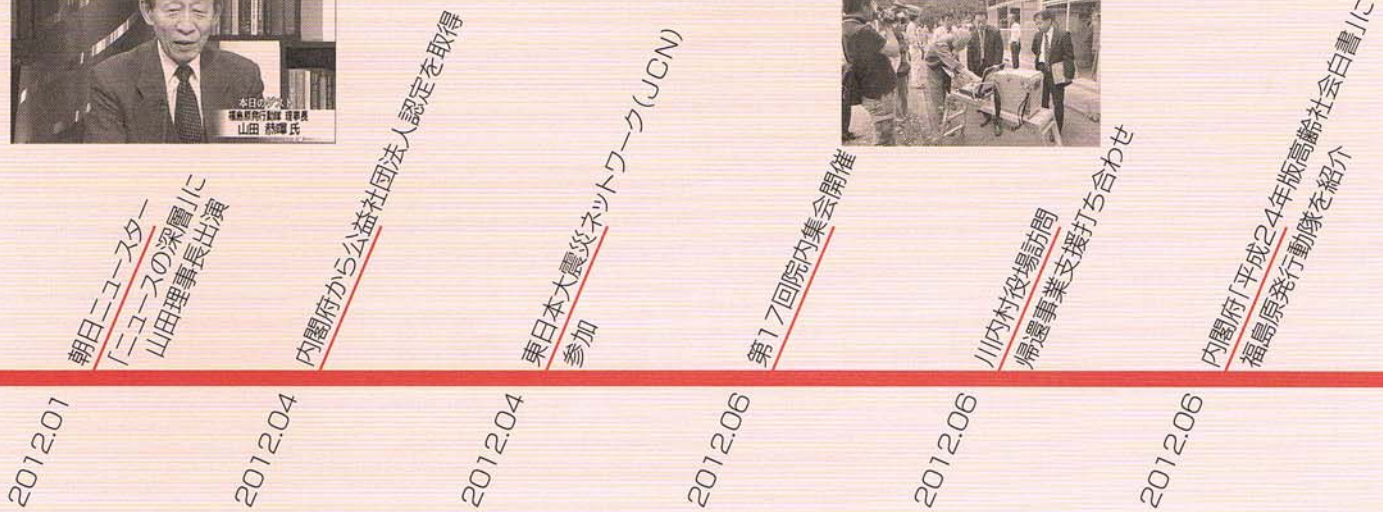
理事長 山田恭暉

山田恭暉

が肩代わりで原発事故収束作業



福島原発行動隊 理事長
山田 健二氏



基本的な立場

多様な考えと積年の経験や技術・技能を備えたシニアが結集

福島原発行動隊は、各人の思想・信条あるいは心情はいっさい問いません。その原則は原発の是非についても同じであり、行動隊内には脱原発論者も原発維持論者もいます。この多様な構成員を結びつける唯一の絆が、原発事故の収束という大目的です。行動隊の全員がお互いに尊重しながら、各自の持てる積年の能力を駆使して未曾有の災厄に立ち向かうこと。これが福島原発行動隊の基本的な立場です。

組織概要

自由な諸個人の集まりながら“原発事故収束”を旗印のもとで行動

福島原発行動隊は自発的参加者によって構成され、組織原理は自由な諸個人の結合です。しかし、福島原発行動隊としての発意や行動は、定款に定めた目的および事業に沿って行っています。2012年6月末現在、約2300名の行動隊員・賛助会員は人材の宝庫であり、すでに多くの方々が部署に就き、それぞれの知恵と力を発揮しています。

提言活動

政府や東京電力をはじめとする関係部署などに対する提案を行っています。

院内集会

国会議員に対する働きかけや、行動隊員・賛助会員相互の議論の場として、一月に一度のペースで参議院議員会館において集会を開いています。

シンポジウム・講演

福島原発行動隊の目的や活動についての講演活動等を行っています。

セミナー・学習会

放射線を理解するための基礎、福島第一原発の状況、過去の原発事故などに関する学習会や、計器の使い方をはじめとする放射線量測定方法に関する指導を行っています。

モニタリング

地方自治体、企業、個人などからの要請に応じて放射線量を測定する活動を行っています。

ウォッチング

原発ウォッチャー・チームは、毎月発表される東京電力の報告書などをもとに福島第一原発の現状を分析しています。

行政・法令等ウォッチャー・チームは、福島第一原発事故に関連した国や地方自治体の動き、また原発に関する様々な法令等について調査・分析しています。

被災自治体支援活動

原発事故被災自治体の復興、帰還事業等の支援を積極的に行っています。

ご寄附のお願い

公益社団法人**福島原発行動隊**の活動は、多くの方々からのご寄附によって支えられています。福島第一原発の事故収束に向けた様々な活動を展開していくために、今後さらに多くの方々からのご支援をお願いするとともに、社会の期待・要請にお応えいたしてまいりたい所存です。何卒、福島原発行動隊の活動意義に対しましてご理解いただき、ご寄附のお力添えを賜りますよう、心からお願い申し上げます。

なお、当法人は公益社団法人として国の認定を受けており、当法人へのご寄附は税制上の優遇措置が受けられます。また、相続、遺贈によって得た財産の一部をご寄附いただいた場合も、相続税の課税対象から除外されます。

【ご寄附口座】

●郵便振替

00190-3-466754 公益社団法人 福島原発行動隊

●ゆうちょ銀行

〇一九 (ゼロイチキョウ) 店 (019)
当座 0466754 シャ) フクシマゲンパツコウドウタイ

●城南信用金庫

新橋支店 普通預金 469257 公益社団法人 福島原発行動隊

●三菱東京UFJ銀行

新橋支店 普通預金 3268141 公益社団法人 福島原発行動隊

●JustGivingJapan からのご寄附

<http://justgiving.jp/npo/587> (クレジットカード利用可能)

ご参加のお願い

1. 「行動隊員」として 応募してください。

原則として 60 歳以上、現場作業に耐える体力・経験を有すること。会費は不要です。

2. 「賛助会員」として、 賛同し、応援してください。

賛助会員の方には、年会費 1,000 円を納入していただきます。



2011年7月12日 理事長 山田恭暉、副理事長 塩谷亘弘外 3名の行動隊員は、東京電力福島第一原子力発電所構内視察、第4号機原子炉建屋に入る。



公益社団法人 **福島原発行動隊**
Skilled Veterans Corps for Fukushima

〒114-0023 東京都北区滝野川7-7-7
サークル伊藤ビル302 SVCF内
電話：03-5980-8535 FAX：03-5980-8536
<http://svcf.jp/> svcf-admin@svcf.jp